



2016-2017年度
東日本区 理事通信
第20巻08号
2017年2月2日



「理事メッセージ」

あいさつ

厳しい寒さが続いておりますが、梅の開花のニュースなどに春の到来が近いことを感じる今日この頃です。みなさまにはお変わりなくワイズダムにご奉仕いただいていることとお礼を申し上げます。

さて2月はTOF (Time of Fast) の強調月間です。「断食の時」とも呼ばれ、世界の飢餓に苦しむ人々の苦しみを覚えるとともに生活の向上を支援するため、例会の食事を抜きにして、その分の金額を国際に献金し、その年度に定めた途上国での開発事業に捧げる活動です。現在はTOF-GPF (グローバル・プロジェクト基金) として、毎年、応募のあった事業の中から、評価・選定委員会が審議し、国際議会で承認された事業に補助金を給付しています。1973年の開始以来、ワイズメンズクラブ国際協会は、630万米ドルの支援を様々な事業にしてきました。現在は、進行中の17事業に今年度選ばれた8事業 (p.3-4 太田主任説明参照) を加え、合計16カ国における25事業を支援しています。居ながらにして世界の苦しむ人々を支援できる、ワイズならではの国際協力です。この事業の趣旨を理解し、今年度も多くのTOF献金が寄せられることを期待いたします。

また、第2回東西交流会開催が目前となりました。田中実行委員長はじめ多くの実行委員の方々のご尽力により、400名近い参加者が得られ、大変充実した内容のプログラムも備えられました。必ずや素晴らしい交流が実現するものと確信しております。次号で詳細をお伝えできることを楽しみにしております。みなさま、東山荘でお会いしましょう。



TOFの支援によるネパールにおける助産師養成プロジェクト



イースト・エルサレムでの
子ども対象のTOF-GPF
事業

	2016.1.1	2016.7.1	2017.1.1			直近 増減
			入 会 者	退 会 者	差 引 人 数	
北海道部	49	50	0	0	50	0
北東部	127	137	6	1	142	5
関東東部	138	134	2	3	133	▲1
東新部	99	90	18	12	96	6
あずさ部	185	83	5	5	183	0
湘南・ 沖縄部	122	124	2	3	123	▲1
富士山部	200	190	4	4	190	0
合計	920	908	37	28	917	9

後期半年報がまとまりました。

集計の結果は、純増で9名（入会者数37名：退会者数28名）と予想したより伸びませんでした。大変厳しい状況が続いております。

ご高齢による退会が目立つようです。お亡くなりによる退会は15.3%を占めています。一方で、1月～3月（インビテーション期間中）に入会予定者があり、増えるクラブもあります。

クラブ数は、東京多摩みなみクラブが誕生し、東京目黒クラブが解散したことで、変わらず61クラブとなりました。折り返し地点に立っております。目標達成に向け、みなさまのご協力を宜しくお願いします。

会員増強事業主任 菊地弘生（仙台青葉城）

後期区費、各種献金の送付の締め切りは2月15日です。

すでに各クラブ会長には東日本区事務所から区費の請求書と各種献金の目標額の参考資料を郵送いたしました。期限を守って納入していただきますようお願いいたします。

第20回東日本区大会の登録が始まります。

来る6月3日（土）～4日（日）に、「小江戸」川越で開催される第20回東日本区大会の登録受付が2月8日（水）から始まります。また同大会のホームページも同じく2月8日にオープンとなりますので、ご活用ください。

なお、大会のご案内および登録申込用紙は、第2回東西交流会で直接お渡しいたします。交流会参加者以外のメンバーには郵送されます。

みなさまのお申し込みをお待ちしております。

第27回アジア太平洋地域大会早期申し込み割引一まだ間に合います。

第27回アジア太平洋地域大会は、下記の日程で、タイのチェンマイで開催されますが、アジア地域と太平洋地域が一緒になって初めての記念すべき大会です。

《主な日程》

○アジア太平洋地域大会

2017年7月21日（金）～23日（日）

会場：エンプレス・チェンマイ・ホテル

○ユースコンボケーション

2017年7月19日（水）～23日（日）

会場：チェンマイYMCA

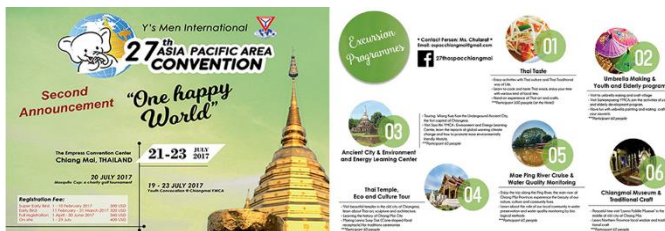
○モスキート・カップ・ゴルフ・トーナメント

2017年7月20日(木)

会場：ノースヒル・ゴルフ・クラブ

その募集がすでに始まっており、特に1番割引の効く「スーパー・アーリー・バード(超早期割引)」の期間締め切りが1月31日から2月10日まで延長されましたので、この期間に申し込みをされることをお勧めいたします。申込用紙は、下記のホームページからダウンロードできます。

<http://www.ymcchiangmai.org/27thaspacchiangmai/index.html>



その他、エクスカージョンの内容や会場について、またチェンマイの魅力なども、ホームページでご覧いただけます。

また、以下の素晴らしいゴルフ場で、前日の7月20日にモスキート・カップ・ゴルフ・トーナメントが予定されております。個人選と国別対抗もあるそうですので、ゴルフ・ファンはぜひ奮ってご参加ください。申込用紙のゴルフの欄にチェックをすると、ゴルフ・トーナメント委員会から連絡が来ることになっています。

<http://www.northhillchiangmai.com/en>

多くの方々が東日本区からご参加くださることを祈念しております。ご不明の点がございましたら、区事務所または理事にご遠慮なくお問い合わせください。

理事 利根川 恵子

J E F 基金献金報告 (2016-2017 年度直近まで) (敬称略)

浅羽俊一郎 (東京山手)
20,000 円 事業主任を無事終えて感謝
村杉克己 (東京北)
30,000 円 「胃がん」手術を終えて

小山憲彦 (東京サンライズ)
10,000 円 1年間事務所の仕事を終えて
吉田明弘 (東京西)
10,000 円 入会以来 50年継続活動感謝
中田 成 (沼津)
10,000 円 結婚 60年感謝

東日本区会計 吉田 公代

新しい仲間

右記の方々が2017年1月1日以降に新しく入会されましたので紹介します。心から歓迎します。(敬称略)

1月11日 多田 修 (石巻広域)
1月16日 武藤健司 (十勝)
1月18日 青山史恵 (長野)

国際・交流事業活動—TOF 献金の役割 一報告

国際・交流事業主任 太田勝人 (東京世田谷)

今月2月の強調テーマは「TOF, Time of Fast」であり、かつ各種献金を区の吉田会計よりも皆様方をお願い致している”月“であります。皆様方のご理解、ご協力に対して感謝申し上げます。

今月の理事通信では、献金していただいたTOFについて具体的に2016年度は次のようなプロジェクトに「ワイズメン国際協会」は使用する決定をして、行動いたしておりますので、そのことをお知らせします；

1. TOF16-01 「韓国：プサンYMCAとワイズメン韓国地区による、カンボジャ・ラオス・ミャンマーでの医療の無料奉仕活動」に対して、CHF24,500(約260万円)
2. TOF16-02 「アジア：モンゴルYMCA—健全な未来の為に、10代の若者育成プロジェクト」に対して、US\$7,988(約83万円)
3. TOF16-03 [中南米、カリブ海：ハイチ、アン・アーバンYMCAによる貧困問題への取り組み]に対して、US\$10,000(約100万円)
4. TOF16-04 「アフリカ：マダガスカル Y Care Internationalによる農村の若者を元気づける社会・経済の改善への取り組み」に対して、CHF29,500(約313万円)
5. TOF16-05 「中南米：ペルー—YMCA、サン・ボルシャYMCAのEmpendedores Plus プロジェクト(国連が目指す貧困対策、環境対策に呼応し、首都リマの学校で若者に教育・支援する内容)に対して、US\$7,500(約75万円)
6. TOF16-06 「欧州：スウェーデン バステラスYMCAによるネパールでの孤児や女子への教育、支援活動」に対して、CHF30,000(約318万円)
7. TOF16-07 「インド：マチリパトナム ワイズメンズクラブ—PCの扱い方、裁縫仕立ての技能を貧しさのために困っている女性に教える活動」に対して、CHF9,143(約97万円)
8. TOF16-08 「インド：カルバンチャル(ケララ州)YMCAによる社会から疎外された人達に対する技能習得や健康・栄養指導等の活動」に対して、CHF23,963(約254万円)

以上8件に対して、日本円換算で1,410万円がTOF基金から使用され、世界の恵まれない地域で皆様方の献金が活かされております。

重ねて感謝申し上げますと共に、引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

=====

東日本大震災募金・熊本地震募金への¹感謝

東日本大震災対策本部長 利根川 恵子

1月7日(土)に開催された、在京ワイズ新年会での募金を下記のとおりお預かりしました。ありがとうございました。

東日本大震災募金へ 42,000円

熊本地震募金へ 42,000円



YMCA だより

連絡主事 光永尚生

2月4日~5日にかけては、YMCA 東山荘に、東西並びに台湾からのワイズメンの交流会が盛大に開催され、東西になって20年目の節目を多くの方たちとわかちあっていただき感謝です。ワイズメンズクラブの協働、連帯の意識、純粋な心に改めて触れる機会となり感謝申し上げます。

さて、2月22日は、全国のYMCAで取り組んでいる、「ピンクシャツデー」の1日です。この取り組みは、いじめの無い世界を目指すアクションとして、YMCAが取り組んでいる活動のひとつです。この活動の始まりは、2007年にカナダでピンクのシャツを着て登校した少年が、ゲイとしていじめられたのを見た学生が、50枚のピンクシャツを、友人・知人に配り翌日登校し、その活動が広がり自然といじめがなくなったそうです。今年の2月22日(水)がピンクシャツデーですが、全国のYMCA、ワイズメンズクラブの皆様、体のどこかにピンク色のものを身に着けていただき、ピンク

シャツデーの意味を、ともに考え、実践する1日としていただければ幸いです。皆様も、一緒に実践して見られませんか。

YMCAの、ブランドビジョンとして、互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある、豊かな社会を創ることを目標としていきます。

<https://sites.google.com/a/japanymca.org/pinkshirtday/updating>



いじめの無い世界を目指す
ピンクシャツデー

いじめの無い世界を目指すアクションとして、ピンクシャツデーにYMCAは取り組んでいます。この活動の始まりは、2007年、カナダでピンクのシャツを着て登校した少年がゲイといじめられたのを見た学生が50枚のピンクシャツを友人・知人に配り翌日登校し、その活動が広がり自然といじめがなくなったそうです。

今年2月22日(水)がピンクシャツデーです。趣旨にご賛同いただきピンクのシャツや小物を身に付けて来館されませんか？

